



去る7月28日、鈴木ムツヨ文教厚生常任委員長が急逝されました
心より哀悼の意を表します

8月20日 大津町議会一同

鈴木さんは、今年初めからご自身の病のことを知っておられたにも関わらず、議員や職員にはみじんもそのことを明かさず、3月議会も委員長としての職をまっとうされ5月には議会活性化特別委員会の研修にも毅然として参加されました。5月末には、入院されたので、今となってはこの研修が鈴木さんとお会いする最後の機会となっていました。7月29日朝、議会事務局より鈴木委員長が昨夜亡くなられたとの一報を受けたときは、あまりにも突然の不幸に言葉を失い、ただ呆然と立ち尽くすことしかできませんでした。

鈴木ムツヨさんは、平成17年2月の町議選に当選され、大津町としては初の女性議員として内外の期待を一身に受け、見事に活躍をしてこられ、平成21年には、2期連続の当選を果たされ、文教厚生常任委員会の副委員長に就任され、23年から同委員長として手腕を発揮してこられました。持ち前の積極性と抜群の行動力、そして自分が納得いかないことはめがねを指で押し上げながらとことん質問をしていかれる、そんな姿を忘れることができません。他の自治体の女性議員とも交流をされ、女性の目線で町政の発展、議会の活性化に多大な貢献をしてこられました。教育問題や福祉問題、男女共同参画社会の形成問題など、活躍の舞台は枚挙に暇がありません。毎回の議会では、必ず一般質問もされ、個

人での議会だよりも発行してこられ、ボランティア活動やNPO活動などにも中心的な立場で取り組んでこられ、様々な教育問題や福祉問題をはじめとする政治課題を抱え、まちづくりの最も大切なこのときに、あなたのような議員を失ったことは残念でなりません。願わくば、次の議員選挙であなたのご意思を受け継いだ第二、第三の女性議員が登場されますことを心から待ちたいと思います。私たちも、あなたのご偉業を継承し、大津町議会のより一層の活性化と大津町の発展のために切磋琢磨しながら全力で活動을続けてまいります。鈴木ムツヨさんの安らかなお眠りをお祈りいたしまして、追悼の言葉とします。

7.12豪雨、お見舞申し上げます

町議会は7月12日午後、現地調査を行いました



岩坂区阿原目地区の住民の避難の様子

